

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公表特許公報(A)

(11)公表番号
特表2025-505868
(P2025-505868A)

(43)公表日 令和7年2月28日(2025.2.28)

(51)国際特許分類
H 0 4 N 5/262(2006.01)

F I
H 0 4 N 5/262

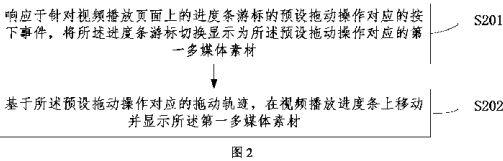
テーマコード (参考)
5 C 0 2 3

審査請求 有 予備審査請求 未請求 (全22頁)			
(21)出願番号	特願2024-550591(P2024-550591)	(71)出願人	521431088
(86)(22)出願日	令和5年6月6日(2023.6.6)		北京字跳▲網▼絡技▲術▼有限公司
(85)翻訳文提出日	令和6年8月26日(2024.8.26)		Beijing Zitiao Network Technology Co., Ltd.
(86)国際出願番号	PCT/CN2023/098512		中国北京市海淀区紫金数碼園4号楼2層
(87)国際公開番号	WO2023/246497		0207
(87)国際公開日	令和5年12月28日(2023.12.28)		0207, 2/F, Building 4, Zijin Digital Park, Haidian District, Beijing, P. R. China
(31)優先権主張番号	202210725231.3	(74)代理人	110004381
(32)優先日	令和4年6月23日(2022.6.23)		弁理士法人ITOH
(33)優先権主張国・地域又は機関	中国(CN)	(72)発明者	ジャン, ジアシン
(81)指定国・地域	AP(BW,CV,GH,GM,KE,LR,LS,MW,MZ,NA,RW,SD,SL,ST,SZ,TZ,UG,ZM,ZW), EA(AM,AZ,BY,KG,KZ,RU,TJ,TM), EP(AL,AT,BE,BG,CH,CY,CZ,DE,DK,EE,ES,FI,FR,GB,GR,HR,HU,IE,IS,IT,LT,LU,LV		最終頁に続く
	最終頁に続く		最終頁に続く

(54)【発明の名称】 ビデオ処理方法、装置、機器及び記憶媒体

(57)【要約】

本開示は、ビデオ処理方法、装置、機器及び記憶媒体を提供し、前記方法は、ビデオ再生ページにおけるプログレスバーカーソルに対する所定のドラッグ操作に対応する押下イベントを受信した場合、まず、当該プログレスバーカーソルを当該所定のドラッグ操作に対応する第1のマルチメディア素材に切り替え、その後、当該所定のドラッグ操作に対応するドラッグ軌跡に基づき、ビデオ再生プログレスバーにおいて当該第1のマルチメディア素材を移動しながら表示するステップを含む。当該第1のマルチメディア素材は、ビデオ再生ページに表示されているターゲットビデオのコンテンツに関連し、当該第1のマルチメディア素材の表示位置は、ビデオ再生ページにおけるターゲットビデオの再生進捗を特徴付けるために用いられる。



S201 In response to a pressing event corresponding to a preset dragging operation for a progress bar cursor on a video playing page, switch the progress bar cursor, so as to display a first multimedia material corresponding to the preset dragging operation

S202 On the basis of a dragging trajectory corresponding to the preset dragging operation, move a video playing progress bar, and display the first multimedia material

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

ターゲットビデオが表示されているビデオ再生ページにおけるプログレスバーカーソルに対する所定のドラッグ操作に対応する押下イベントに応答して、前記プログレスバーカーソルを、前記所定のドラッグ操作に対応する、前記ターゲットビデオのコンテンツに関連する第 1 のマルチメディア素材に切り替え表示するステップと、

前記所定のドラッグ操作に対応するドラッグ軌跡に基づき、ビデオ再生プログレスバーにおいて前記第 1 のマルチメディア素材を移動しながら表示するステップと、を含み、

前記第 1 のマルチメディア素材のビデオ再生プログレスバーにおける表示位置は、前記ビデオ再生ページにおける前記ターゲットビデオの再生進捗を特徴付けるために用いられる、

ビデオ処理方法。

【請求項 2】

前記所定のドラッグ操作に対応するドラッグ軌跡に基づき、前記第 1 のマルチメディア素材を移動しながら再生するステップの後、

前記第 1 のマルチメディア素材の表示時間長が所定の第 1 の時間長に達したことを監視した場合、前記第 1 のマルチメディア素材を、前記所定のドラッグ操作に対応する、前記第 1 のマルチメディア素材のコンテンツに関連する第 2 のマルチメディア素材に切り替え表示するステップと、

前記所定のドラッグ操作に対応するドラッグ軌跡に基づき、前記ビデオ再生プログレスバーにおいて前記第 2 のマルチメディア素材を移動しながら表示するステップと、を更に含む、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記所定のドラッグ操作に対応するドラッグ軌跡に基づき、前記第 2 のマルチメディア素材を移動しながら表示するステップの後、

前記所定のドラッグ操作に対応する持ち上げイベントに応答して、前記第 2 のマルチメディア素材を、前記所定のドラッグ操作に対応する、前記第 2 のマルチメディア素材のコンテンツに関連する第 3 のマルチメディア素材に切り替え表示するステップと、

前記ビデオ再生ページにおけるビデオ再生プログレスバーに基づき、前記第 3 のマルチメディア素材を表示するステップと、を更に含む、

請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記所定のドラッグ操作に対応するドラッグ軌跡に基づき、前記第 1 のマルチメディア素材を移動しながら表示するステップの後、当該方法は、

前記第 1 のマルチメディア素材の表示時間長が前記所定の第 1 の時間長に達していないと確定し、前記所定のドラッグ操作に対応する持ち上げイベントを監視した場合、前記第 1 のマルチメディア素材を、前記所定のドラッグ操作に対応する、前記第 1 のマルチメディア素材のコンテンツに関連する第 4 のマルチメディア素材に切り替え表示するステップと、

前記ビデオ再生ページにおけるビデオ再生プログレスバーに基づき、前記第 4 のマルチメディア素材を表示するステップと、を更に含む、

請求項 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記第 1 のマルチメディア素材は、第 1 の動画であり、前記第 2 のマルチメディア素材は、第 2 の画像であり、前記第 2 の画像は、前記第 1 の動画における所定のフレーム画面であり、前記第 3 のマルチメディア素材は、第 3 の動画であり、前記第 1 の動画、前記第 2 の画像及び前記第 3 の動画のコンテンツは関連する、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 6】

前記所定のドラッグ操作は、前記プログレスバーカーソルに対する前向きドラッグ操作

10

20

30

40

50

又は後向きドラッグ操作であり、前記前向きドラッグ操作は、前記ビデオ再生ページにおける前記ターゲットビデオの再生進捗に対する前進制御操作に対応し、前記後向きドラッグ操作は、前記ターゲットビデオの再生進捗に対する後退制御操作に対応する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

対応関係を有する前記前向きドラッグ操作及び前記後向きドラッグ操作にそれぞれ対応する第 1 のマルチメディア素材のコンテンツは関連する、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記第 1 のマルチメディア素材のコンテンツは、前記所定のドラッグ操作に対応するドラッグ方向に関連する、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 9】

前記ビデオ再生ページにおけるビデオ再生プログレスバーは、前記第 1 のマルチメディア素材の下方位置にあるか、又は前記第 1 のマルチメディア素材の中央位置にある、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

ビデオ再生ページにおけるプログレスバーカーソルに対する所定のドラッグ操作に対応する押下イベントにตอบสนองして、前記プログレスバーカーソルを前記所定のドラッグ操作に対応する第 1 のマルチメディア素材に切り替え表示するための第 1 の切り替え表示モジュールと、

前記所定のドラッグ操作に対応するドラッグ軌跡に基づき、前記第 1 のマルチメディア素材を移動しながら表示するための第 1 の移動表示モジュールと、を含み、

前記第 1 のマルチメディア素材の表示位置は、前記ビデオ再生ページにおけるビデオの再生進捗を特徴付けるために用いられる、

ビデオ処理装置。

【請求項 11】

端末機器で実行されると、前記端末機器に請求項 1 ～ 9 の何れか一項に記載の方法を実現させる命令が記憶されている、コンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 12】

メモリと、プロセッサと、を含み、前記メモリにコンピュータプログラムが記憶されており、前記コンピュータプログラムは、前記プロセッサにより実行されると、請求項 1 ～ 9 の何れか一項に記載の方法を実現するビデオ処理機器。

【請求項 13】

プロセッサにより実行されると、請求項 1 ～ 9 の何れか一項に記載の方法を実現するコンピュータプログラム／命令を含む、コンピュータプログラム製品。

【請求項 14】

請求項 1 ～ 9 の何れか一項に記載の方法を実現するためにプロセッサにより実行されるプログラムコードを含む、コンピュータプログラム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

(関連出願の参照)

本願は、出願番号が 202210725231.3 で、出願日が 2022 年 6 月 23 日である中国出願に基づき、その優先権を主張し、この中国出願の開示内容は、ここで全体として本願に組み込まれる。

【0002】

(技術分野)

本開示は、データ処理分野に関し、特にビデオ処理方法、装置、機器及び記憶媒体に関する。

【背景技術】

【0003】

ビデオ処理技術の絶えない発展に伴い、ビデオ再生中の関連機能に対する人々の需要は益々多様化している。

【発明の概要】

【0004】

上記技術的課題を解決するために、本開示の実施例は、ビデオ処理の技術案を提供する。

【0005】

第1の態様において、本開示は、ビデオ処理方法を提供し、当該方法は、

ターゲットビデオが表示されているビデオ再生ページにおけるプログレスバーカーソルに対する所定のドラッグ操作に対応する押下イベントに応答して、プログレスバーカーソルを、所定のドラッグ操作に対応する、ターゲットビデオのコンテンツに関連する第1のマルチメディア素材に切り替え表示するステップと、

10

所定のドラッグ操作に対応するドラッグ軌跡に基づき、ビデオ再生プログレスバーにおいて第1のマルチメディア素材を移動しながら表示するステップと、を含み、第1のマルチメディア素材のビデオ再生プログレスバーにおける表示位置は、ビデオ再生ページにおけるターゲットビデオの再生進捗を特徴付けるために用いられる。

【0006】

幾つかの実施例において、所定のドラッグ操作に対応するドラッグ軌跡に沿って、第1のマルチメディア素材を移動しながら再生するステップの後、

第1のマルチメディア素材の表示時間長が所定の第1の時間長に達したことを監視した場合、第1のマルチメディア素材を、所定のドラッグ操作に対応する、第1のマルチメディア素材のコンテンツに関連する第2のマルチメディア素材に切り替え表示するステップと、

20

所定のドラッグ操作に対応するドラッグ軌跡に基づき、ビデオ再生プログレスバーにおいて第2のマルチメディア素材を移動しながら表示するステップと、を更に含む。

【0007】

幾つかの実施例において、所定のドラッグ操作に対応するドラッグ軌跡に沿って、第2のマルチメディア素材を移動しながら表示するステップの後、

所定のドラッグ操作に対応する持ち上げイベントに応答して、第2のマルチメディア素材を、所定のドラッグ操作に対応する、第2のマルチメディア素材のコンテンツに関連する第3のマルチメディア素材に切り替え表示するステップと、

30

ビデオ再生ページにおけるビデオ再生プログレスバーに基づき、第3のマルチメディア素材を表示するステップと、を更に含む。

【0008】

幾つかの実施例において、所定のドラッグ操作に対応するドラッグ軌跡に沿って、第1のマルチメディア素材を移動しながら表示するステップの後、

第1のマルチメディア素材の表示時間長が所定の第1の時間長に達していないと確定し、所定のドラッグ操作に対応する持ち上げイベントを監視した場合、第1のマルチメディア素材を、所定のドラッグ操作に対応する、第1のマルチメディア素材のコンテンツに関連する第4のマルチメディア素材に切り替え表示するステップと、

40

ビデオ再生ページにおけるビデオ再生プログレスバーに基づき、第4のマルチメディア素材を表示するステップと、を更に含む。

【0009】

幾つかの実施例において、第1のマルチメディア素材は第1の動画であり、第2のマルチメディア素材は第2の画像であり、第2の画像は、第1の動画における所定のフレーム画面であり、第3のマルチメディア素材は第3の動画であり、第1の動画、第2の画像及び第3の動画のコンテンツは関連する。

【0010】

幾つかの実施例において、所定のドラッグ操作は、プログレスバーカーソルに対する前向きドラッグ操作又は後向きドラッグ操作であり、前向きドラッグ操作は、ビデオ再生ペ

50

ージにおけるターゲットビデオの再生進捗に対する前進制御操作に対応し、後向きドラッグ操作は、ターゲットビデオの再生進捗に対する後退制御操作に対応する。

【0011】

幾つかの実施例において、対応関係を有する前向きドラッグ操作及び後向きドラッグ操作にそれぞれ対応する第1のマルチメディア素材のコンテンツは関連する。

【0012】

幾つかの実施例において、第1のマルチメディア素材のコンテンツは、所定のドラッグ操作に対応するドラッグ方向に関連する。

【0013】

幾つかの実施例において、ビデオ再生ページにおけるビデオ再生プログレスバーは、第1のマルチメディア素材の下方位置にあるか、又は第1のマルチメディア素材の中央位置にある。

【0014】

第2の態様において、本開示は、ビデオ処理装置を提供し、当該装置は、ビデオ再生ページにおけるプログレスバーカーソルに対する所定のドラッグ操作に対応する押下イベントに応答して、プログレスバーカーソルを所定のドラッグ操作に対応する第1のマルチメディア素材に切り替え表示するための第1の切り替え表示モジュールと、所定のドラッグ操作に対応するドラッグ軌跡に基づき、第1のマルチメディア素材を移動しながら表示するための第1の移動表示モジュールと、を含み、第1のマルチメディア素材の表示位置は、ビデオ再生ページにおけるビデオの再生進捗を特徴付けるために用いられる。

【0015】

第3の態様において、本開示は、コンピュータ可読記憶媒体を提供し、当該コンピュータ可読記憶媒体には、端末機器で実行されると、端末機器に本開示に記載の方法を実行させる命令が記憶されている。

【0016】

第4の態様において、本開示は、ビデオ処理機器を提供し、当該ビデオ処理機器は、メモリと、プロセッサと、を含み、メモリにコンピュータプログラムが記憶されており、コンピュータプログラムは、プロセッサで実行可能であり、プロセッサにより実行されると本開示に記載の方法を実現する。

【0017】

第5の態様において、本開示は、コンピュータプログラム製品を提供し、当該コンピュータプログラム製品は、プロセッサにより実行されると本開示に記載の方法を実現するコンピュータプログラム／命令を含む。

【0018】

第6の態様において、本開示は、コンピュータプログラムを提供し、当該コンピュータプログラムは、プロセッサにより実行されると本開示に記載の方法を実現するプログラムコードを含む。

【図面の簡単な説明】

【0019】

この図面は、明細書に組み込まれて本明細書の一部を構成し、本開示に適する実施例を示しており、明細書と共に本開示の原理の解釈に用いられる。

【0020】

本開示の実施例又は従来技術における技術的解決手段をより明確に説明するために、以下、実施例又は従来技術の説明に使用する必要のある図面を簡単に説明し、明らかに、当業者であれば、創造的な労働を行うことなく更にこれらの図面に基づいて他の図面を得ることができる。

【図1】ビデオ再生プログレスバーの概略図である。

【図2】本開示の実施例により提供されるビデオ処理方法のフローチャートである。

【図3】本開示の実施例により提供されるビデオ再生プログレスバーにおけるプログレス

10

20

30

40

50

バーカーソルの概略図である。

【図４】本開示の実施例により提供される別のビデオ処理方法のフローチャートである。

【図５】本開示の実施例により提供されるビデオ処理装置の構造概略図である。

【図６】本開示の実施例により提供されるビデオ処理機器の構造概略図である。

【発明を実施するための形態】

【００２１】

本開示の上記目的、特徴及び利点をより明確に理解できるように、以下、本開示の技術案を更に説明する。なお、矛盾しない限り、本開示の実施例及び実施例における特徴は、互いに組み合わせることができる。

【００２２】

本開示を十分に理解しやすくするために、以下の説明において多くの具体的な細部を述べているが、本開示は、更にここに記載の方法と異なる他の方法を用いて実施することができる。明らかに、明細書における実施例は、本開示の一部の実施例に過ぎず、全ての実施例ではない。

【００２３】

ビデオ再生プログレスバーは、ビデオ再生ページに表示されているビデオの再生進捗を指示するために用いられ、プログレスバーカーソルは、ビデオ再生プログレスバーに位置し、ユーザは、ビデオ再生プログレスバーにおいてプログレスバーカーソルをドラッグし、ビデオの再生進捗に対する前進又は後退の制御操作をトリガすることができる。図１に示すように、ビデオ再生プログレスバーの概略図であり、ビデオ再生プログレスバー１００にプログレスバーカーソル１１０が表示されている。

【００２４】

関連技術において、ビデオ再生プログレスバーにおけるプログレスバーカーソルの表示スタイルは、比較的単一であり、通常、いずれも上記図１におけるプログレスバーカーソル１１０に示されるスタイルであり、機能に対するユーザの多様なニーズを満たすことができない。

【００２５】

ユーザの使用体験を向上させるためにビデオ再生中の関連機能を如何に豊富にするかは、現在早急に解決すべき技術的問題である。

【００２６】

これに鑑み、本開示の実施例は、ビデオ再生ページにおけるプログレスバーカーソルに対する所定のドラッグ操作に対応する押下イベントを受信した場合、まず、当該プログレスバーカーソルを当該所定のドラッグ操作に対応する第１のマルチメディア素材に切り替え、その後、当該所定のドラッグ操作に対応するドラッグ軌跡に基づき、ビデオ再生プログレスバーにおいて当該第１のマルチメディア素材を移動しながら表示するビデオ処理の技術案を提供する。当該第１のマルチメディア素材は、ビデオ再生ページに表示されているターゲットビデオのコンテンツに関連し、当該第１のマルチメディア素材の表示位置は、ビデオ再生ページにおけるターゲットビデオの再生進捗を特徴付けるために用いられる。本開示の実施例は、プログレスバーカーソルに対する所定のドラッグ操作により、プログレスバーカーソルからターゲットビデオのコンテンツに関連する第１のマルチメディア素材に切り替え表示することをトリガし、ビデオ再生に関する機能を豊富にし、ユーザの使用体験を向上させる。

【００２７】

これに鑑み、本開示の実施例は、ビデオ処理方法を提供し、図２を参照し、本開示の実施例により提供されるビデオ処理方法のフローチャートであり、この方法は以下のＳ２０１～Ｓ２０２を含む。

【００２８】

Ｓ２０１において、ビデオ再生ページにおけるプログレスバーカーソルに対する所定のドラッグ操作に対応する押下イベントに応答して、前記プログレスバーカーソルを、前記所定のドラッグ操作に対応する第１のマルチメディア素材に切り替え表示する。前記ビデ

10

20

30

40

50

オ再生ページにターゲットビデオが表示されており、前記第1のマルチメディア素材は、前記ターゲットビデオのコンテンツに関連する。

【0029】

本開示の実施例によれば、第1のマルチメディア素材は、任意の適切なタイプの素材であってもよい。例として、第1のマルチメディア素材は、動画（第1の動画と称される）であってもよいし、画像（第1の画像と称される）であってもよい。

【0030】

本開示の実施例において、上記図1に示すように、ビデオ再生ページにおいてターゲットビデオを表示する過程において、ターゲットビデオのビデオ再生プログレスバーにプログレスバーカーソルが表示されている。当該プログレスバーカーソルに対する所定のドラッグ操作に対応する押下イベントを監視した場合、当該プログレスバーカーソルを当該所定のドラッグ操作に対応する第1のマルチメディア素材に切り替え表示する。図3に示すように、本開示の実施例により提供されるビデオ再生プログレスバーにおけるプログレスバーカーソルの概略図である。上記図1のビデオ再生プログレスバーにおけるプログレスバーカーソル110は、図3に示される所定のドラッグ操作に対応する第1のマルチメディア素材301に切り替えられて表示される。具体的には、aに示すように、ビデオ再生プログレスバーは、第1のマルチメディア素材の下方位置にあってもよいし、bに示すように、ビデオ再生プログレスバーは、第1のマルチメディア素材の中央位置にあってもよい。本開示の実施例は、これに対して限定しない。

【0031】

具体的には、プログレスバーカーソルを所定のドラッグ操作に対応する第1のマルチメディア素材に切り替え表示することは、プログレスバーカーソルの元の表示スタイルを隠すと共に、所定のドラッグ操作に対応する第1のマルチメディア素材を、当該プログレスバーカーソルの切り替え後の表示スタイルとして表示することを意味する。

【0032】

所定のドラッグ操作は、押下と持ち上げイベントの組み合わせを含み、具体的には、押下・ドラッグと持ち上げ操作の組み合わせによってプログレスバーカーソルに対する所定のドラッグ操作をトリガし、押下イベントは、マウス、指又はタッチペンなどを押下する操作によってトリガされるイベントであってもよく、それに対応して、持ち上げイベントは、当該押下イベントに対応する、マウス、指又はタッチペンなどを持ち上げる操作によってトリガされるイベントであってもよい。

【0033】

当該所定のドラッグ操作は、プログレスバーカーソルに対する前向きドラッグ操作又は後向きドラッグ操作であってもよく、具体的には、前向きドラッグ操作は、ビデオ再生ページにおけるターゲットビデオの再生進捗に対する前進制御操作に対応し、後向きドラッグ操作は、当該ターゲットビデオの再生進捗に対する後退制御操作に対応する。

【0034】

幾つかの実施例において、プログレスバーカーソルに対する前向きドラッグ操作に対応する押下イベントを受信した場合、当該プログレスバーカーソルを当該前向きドラッグ操作に対応する第1のマルチメディア素材に切り替え表示する。当該プログレスバーカーソルに対する後向きドラッグ操作に対応する押下イベントを受信した場合、当該プログレスバーカーソルを当該後向きドラッグ操作に対応する第1のマルチメディア素材に切り替え表示する。

【0035】

幾つかの実施例において、対応関係を有する前向きドラッグ操作及び後向きドラッグ操作にそれぞれ対応する第1のマルチメディア素材のコンテンツは関連し、つまり、同一のビデオに対する前向きドラッグ操作及び後向きドラッグ操作にそれぞれ対応する第1のマルチメディア素材のコンテンツは関連する。具体的には、本開示の実施例において、ターゲットビデオに対する前進制御操作（即ち、前向きドラッグ操作）及び後退制御操作（即ち、後向きドラッグ操作）にそれぞれ対応する第1のマルチメディア素材のコンテンツは

関連する。

【0036】

例えば、前向きドラッグ操作に対応する第1のマルチメディア素材は、前向きに走る雪だるま動画であり、後向きドラッグ操作に対応する第1のマルチメディア素材は、後向きに後退する雪だるま動画であり、ユーザが前向きにプログレスバーカーソルをドラッグすることは、雪だるまが前向きに走る動的効果に対応し、後向きにプログレスバーをドラッグすることは、雪だるまが後退する動的効果に対応し、ユーザと雪だるまとのインタラクション効果を実現する。

【0037】

幾つかの実施例において、第1のマルチメディア素材のコンテンツは、所定のドラッグ操作に対応するドラッグ方向に関連する。例えば、前向きドラッグ操作に対応する第1のマルチメディア素材は、前向きに走る、左から右へ手を振る雪だるま動画であり、後向きドラッグ操作に対応する第1のマルチメディア素材は、後退する、右から左へ手を振る雪だるま動画である。

【0038】

S202において、前記所定のドラッグ操作に対応するドラッグ軌跡に基づき、ビデオ再生プログレスバーにおいて前記第1のマルチメディア素材を移動しながら表示する。

【0039】

前記第1のマルチメディア素材のビデオ再生プログレスバーにおける表示位置は、前記ビデオ再生ページにおける前記ターゲットビデオの再生進捗を特徴付けるために用いられる。

【0040】

本開示の実施例において、ビデオ再生プログレスバーにおけるプログレスバーカーソルを所定のドラッグ操作に対応する第1のマルチメディア素材に切り替え表示した後、当該所定のドラッグ操作に対応するドラッグ軌跡に沿って、ビデオ再生プログレスバーにおいて当該第1のマルチメディア素材を移動しながら表示する。第1のマルチメディア素材のビデオ再生プログレスバーにおける表示位置により、ターゲットビデオの再生進捗をユーザに指示する。

【0041】

第1のマルチメディア素材がターゲットビデオのコンテンツに関連し、例えば、ターゲットビデオがクリスマス関連ビデオであれば、第1のマルチメディア素材は、雪だるま動画、雪だるま画像、サンタクロース動画などのクリスマス要素に関連する素材であってもよいため、ターゲットビデオのビデオ再生プログレスバーにおけるプログレスバーカーソルを第1のマルチメディア素材に切り替え表示することにより、ユーザの没入感を向上させ、ユーザの使用体験を向上させることができる。

【0042】

本開示の実施例により提供されるビデオ処理方法において、ビデオ再生ページにおけるプログレスバーカーソルに対する所定のドラッグ操作に対応する押下イベントを受信した場合、まず、当該プログレスバーカーソルを当該所定のドラッグ操作に対応する第1のマルチメディア素材に切り替え、その後、当該所定のドラッグ操作に対応するドラッグ軌跡に基づき、ビデオ再生プログレスバーにおいて当該第1のマルチメディア素材を移動しながら表示する。当該第1のマルチメディア素材は、ビデオ再生ページに表示されているターゲットビデオのコンテンツに関連し、当該第1のマルチメディア素材の表示位置は、ビデオ再生ページにおけるターゲットビデオの再生進捗を特徴付けるために用いられる。本開示の実施例は、プログレスバーカーソルに対する所定のドラッグ操作により、プログレスバーカーソルからターゲットビデオのコンテンツに関連する第1のマルチメディア素材に切り替え表示することをトリガし、ビデオ再生に関する機能を豊富にし、ユーザの使用体験を向上させる。

【0043】

追加的又は選択的に、本開示の実施例は、別のビデオ処理方法を更に提供し、図4を参

10

20

30

40

50

照し、本開示の実施例により提供される別のビデオ処理方法のフローチャートであり、この方法は以下のS401～S408を含む。

【0044】

S401において、ビデオ再生ページにおけるプログレスバーカーソルに対する所定のドラッグ操作に対応する押下イベントに応答して、前記プログレスバーカーソルを、前記所定のドラッグ操作に対応する第1のマルチメディア素材に切り替え表示する。

【0045】

前記ビデオ再生ページにターゲットビデオが表示されており、前記第1のマルチメディア素材は、前記ターゲットビデオのコンテンツに関連する。本開示の実施例によれば、第1のマルチメディア素材は、任意の適切なタイプの素材であってもよい。例として、第1のマルチメディア素材は、動画（第1の動画と称される）であってもよいし、画像（第1の画像と称される）であってもよい。

【0046】

S402において、前記所定のドラッグ操作に対応するドラッグ軌跡に基づき、ビデオ再生プログレスバーにおいて前記第1のマルチメディア素材を移動しながら表示する。

【0047】

前記第1のマルチメディア素材のビデオ再生プログレスバーにおける表示位置は、前記ビデオ再生ページにおける前記ターゲットビデオの再生進捗を特徴付けるために用いられる。

【0048】

本開示の実施例におけるS401及びS402は、上記実施例におけるS201及びS202と同じであり、上記実施例を参照しながら理解することができ、ここで詳しく説明しない。

【0049】

S403において、前記第1のマルチメディア素材の表示時間長が所定の第1の時間長に達したことを監視した場合、前記第1のマルチメディア素材を、前記所定のドラッグ操作に対応する第2のマルチメディア素材に切り替え表示する。

【0050】

前記第2のマルチメディア素材は、前記第1のマルチメディア素材のコンテンツに関連する。

【0051】

本開示の実施例において、ビデオ再生プログレスバーにおいて第1のマルチメディア素材を移動しながら表示する過程で、第1のマルチメディア素材の表示時間長をリアルタイムに監視する。第1のマルチメディア素材の表示時間長が所定の第1の時間長に達したことを監視した場合、ビデオ再生プログレスバーに表示されている第1のマルチメディア素材を、所定のドラッグ操作に対応する第2のマルチメディア素材に切り替え表示する。

【0052】

第2のマルチメディア素材は、任意の適切なタイプの素材であってもよく、第1のマルチメディア素材のタイプと同じであるか又は異なる。例えば、第1のマルチメディア素材のコンテンツに関連する動画（以下、第2の動画と称される）又は画像（以下、第2の画像と称される）であってもよい。所定の第1の時間長は、表示ニーズに応じて予め決定することができ、例えば150msである。

【0053】

S404において、前記所定のドラッグ操作に対応するドラッグ軌跡に基づき、前記ビデオ再生プログレスバーにおいて前記第2のマルチメディア素材を移動しながら表示する。

【0054】

実際の適用において、ビデオ再生プログレスバーに表示されている第1のマルチメディア素材を、所定のドラッグ操作に対応する第2のマルチメディア素材に切り替え表示した後、当該所定のドラッグ操作に対応するドラッグ軌跡に基づき、ビデオ再生プログレスバ

10

20

30

40

50

ーにおいて当該第2のマルチメディア素材を移動しながら表示する。

【0055】

S405において、前記所定のドラッグ操作に対応する持ち上げイベントに応答して、前記第2のマルチメディア素材を、前記所定のドラッグ操作に対応する第3のマルチメディア素材に切り替え表示する。

【0056】

前記第3のマルチメディア素材は、前記第2のマルチメディア素材のコンテンツに関連する。

【0057】

本開示の実施例において、所定のドラッグ操作に対応する押下イベントを監視した後、当該所定のドラッグ操作に対応する持ち上げイベントをリアルタイムに監視する。当該所定のドラッグ操作に対応する持ち上げイベントを検出した場合、ビデオ再生プログレスバーに表示されている第2のマルチメディア素材を当該所定のドラッグ操作に対応する第3のマルチメディア素材に切り替え表示する。

【0058】

第3のマルチメディア素材は、任意の適切なタイプの素材であってもよく、第1のマルチメディア素材及び／又は第2のマルチメディア素材のタイプと同じであるか又は異なる。例えば、第2のマルチメディア素材のコンテンツに関連する動画（以下、第3の動画と称される）又は画像（以下、第3の画像と称される）であってもよい。

【0059】

S406において、前記ビデオ再生ページにおけるビデオ再生プログレスバーに基づき、前記第3のマルチメディア素材を表示する。

【0060】

本開示の実施例において、ビデオ再生プログレスバーに表示されている第2のマルチメディア素材を、所定のドラッグ操作に対応する第3のマルチメディア素材に切り替え表示した後、ビデオ再生ページにおけるビデオ再生プログレスバーにおいて、第3のマルチメディア素材を表示する。

【0061】

ビデオ再生ページにおけるターゲットビデオが再生状態にある場合、ターゲットビデオのビデオ再生プログレスバーに沿って第3のマルチメディア素材を再生し、ターゲットビデオの再生進捗を指示する。

【0062】

ビデオ再生ページにおけるターゲットビデオが一時停止状態にある場合、所定のドラッグ操作に対応する持ち上げイベントの発生位置において、第3のマルチメディア素材を表示する。

【0063】

S407において、前記第1のマルチメディア素材の表示時間長が前記所定の第1の時間長に達していないと確定し、前記所定のドラッグ操作に対応する持ち上げイベントを監視した場合、前記第1のマルチメディア素材を、前記所定のドラッグ操作に対応する第4のマルチメディア素材に切り替え表示する。

【0064】

前記第4のマルチメディア素材は、前記第1のマルチメディア素材のコンテンツに関連する。

【0065】

本開示の実施例において、第1のマルチメディア素材の表示時間長が所定の第1の時間長に達していない場合、所定のドラッグ操作に対応する持ち上げイベントを監視した場合、ビデオ再生プログレスバーにおける第1のマルチメディア素材を、所定のドラッグ操作に対応する第4のマルチメディア素材に切り替え表示する。

【0066】

具体的には、第4のマルチメディア素材は、任意の適切なタイプの素材であってもよく

10

20

30

40

50

、第 1 のマルチメディア素材及び／又は第 2 のマルチメディア素材及び／又は第 3 のマルチメディア素材のタイプと同じであるか又は異なる。例えば、第 1 のマルチメディア素材のコンテンツに関連する動画（以下、第 4 の動画と称される）又は画像（以下、第 4 の画像と称される）であってもよい。

【0067】

幾つかの実施例において、第 4 のマルチメディア素材は、第 3 のマルチメディア素材と同じであってもよく、異なってもよい。

【0068】

S 408 において、前記ビデオ再生ページにおけるビデオ再生プログレスバーに基づき、前記第 4 のマルチメディア素材を表示する。

【0069】

本開示の実施例において、ビデオ再生プログレスバーに表示されている第 1 のマルチメディア素材を、所定のドラッグ操作に対応する第 4 のマルチメディア素材に切り替え表示した後、ビデオ再生ページにおけるビデオ再生プログレスバーにおいて、第 4 のマルチメディア素材を表示する。

【0070】

本開示の実施例により提供されるビデオ処理方法において、プログレスバーカーソルに対する所定のドラッグ操作により、プログレスバーカーソルからターゲットビデオのコンテンツに関連する第 1 のマルチメディア素材などの素材に切り替え表示することをトリガし、ビデオ再生に関連する機能を更に豊富にし、ユーザの使用体験を向上させる。

【0071】

以下、本開示の実施例の例示的な実現を説明する。適用シーンでは、ビデオ再生ページにおけるプログレスバーカーソルに対する所定のドラッグ操作に対応する押下イベントに応答して、前記プログレスバーカーソルを当該所定のドラッグ操作に対応する第 1 の動画に切り替え表示し、その後、第 1 の動画の再生時間長が所定の第 1 の時間長に達したことを監視した場合、第 1 の動画を第 1 の動画における所定のフレーム画面（即ち、第 2 の画像）に切り替え表示し、更に、当該所定のドラッグイベントに対応する持ち上げイベントを監視した場合、所定のフレーム画面を第 3 の動画に切り替え表示する。第 1 の動画、第 2 の画面及び第 3 の動画のコンテンツは関連し、第 1 の動画及び第 3 の動画のデータは、j s o n ファイルに基づいて格納することができる。

【0072】

本開示は、ビデオ処理装置を更に提供し、図 5 を参照し、本開示の実施例により提供されるビデオ処理装置の構造概略図であり、前記装置は第 1 の切り替え表示モジュール 501 及び第 1 の移動表示モジュール 502 を含む。

【0073】

第 1 の切り替え表示モジュール 501 は、ビデオ再生ページにおけるプログレスバーカーソルに対する所定のドラッグ操作に対応する押下イベントに応答して、前記プログレスバーカーソルを前記所定のドラッグ操作に対応する第 1 のマルチメディア素材に切り替えて表示するために用いられる。例として、前記第 1 のマルチメディア素材は、第 1 の動画又は第 1 の画像であってもよい。

【0074】

第 1 の移動表示モジュール 502 は、前記所定のドラッグ操作に対応するドラッグ軌跡に基づき、前記第 1 のマルチメディア素材を移動しながら表示するために用いられる。前記第 1 のマルチメディア素材の表示位置は、前記ビデオ再生ページにおけるビデオの再生進捗を特徴付けるために用いられる。

【0075】

幾つかの実施例において、前記装置は、

前記第 1 のマルチメディア素材の表示時間長が所定の第 1 の時間長に達したことを監視した場合、前記第 1 のマルチメディア素材を、前記所定のドラッグ操作に対応する、前記第 1 のマルチメディア素材のコンテンツに関連する第 2 のマルチメディア素材に切り替え

10

20

30

40

50

表示するための第2の切り替え表示モジュールと、

前記所定のドラッグ操作に対応するドラッグ軌跡に基づき、前記ビデオ再生プログレスバーにおいて前記第2のマルチメディア素材を移動しながら表示するための第2の移動表示モジュールと、を更に含む。

【0076】

幾つかの実施例において、前記装置は、

前記所定のドラッグ操作に対応する持ち上げイベントに応答して、前記第2のマルチメディア素材を、前記所定のドラッグ操作に対応する、前記第2のマルチメディア素材のコンテンツに関連する第3のマルチメディア素材に切り替え表示するための第3の切り替え表示モジュールと、

10

前記ビデオ再生ページにおけるビデオ再生プログレスバーに基づき、前記第3のマルチメディア素材を表示するための第1の表示モジュールと、を更に含む。

【0077】

幾つかの実施例において、前記装置は、

前記第1のマルチメディア素材の表示時間長が前記所定の第1の時間長に達していないと確定し、前記所定のドラッグ操作に対応する持ち上げイベントを監視した場合、前記第1のマルチメディア素材を、前記所定のドラッグ操作に対応する、前記第1のマルチメディア素材のコンテンツに関連する第4のマルチメディア素材に切り替え表示するための第4の切り替え表示モジュールと、

20

前記ビデオ再生ページにおけるビデオ再生プログレスバーに基づき、前記第4のマルチメディア素材を表示するための第2の表示モジュールと、を更に含む。

【0078】

幾つかの実施例において、前記第1のマルチメディア素材は前記第1の動画であり、前記第2のマルチメディア素材は第2の画像であり、前記第2の画像は、前記第1の動画における所定のフレーム画面であり、前記第3のマルチメディア素材は第3の動画であり、前記第1の動画、前記第2の画像及び前記第3の動画のコンテンツは関連する。

【0079】

幾つかの実施例において、前記所定のドラッグ操作は、前記プログレスバーカーソルに対する前向きドラッグ操作又は後向きドラッグ操作であり、前記前向きドラッグ操作は、前記ビデオ再生ページにおける前記ターゲットビデオの再生進捗に対する前進制御操作に対応し、前記後向きドラッグ操作は、前記ターゲットビデオの再生進捗に対する後退制御操作に対応する。

30

【0080】

幾つかの実施例において、対応関係を有する前記前向きドラッグ操作及び前記後向きドラッグ操作にそれぞれ対応する第1のマルチメディア素材のコンテンツは関連する。

【0081】

幾つかの実施例において、前記第1のマルチメディア素材のコンテンツは、前記所定のドラッグ操作に対応するドラッグ方向に関連する。

【0082】

幾つかの実施例において、前記ビデオ再生ページにおけるビデオ再生プログレスバーは、前記第1のマルチメディア素材の下方位置にあるか、又は前記第1のマルチメディア素材の中央位置にある。

40

【0083】

なお、上記各モジュールは、その実現された具体的な機能に基づいて分割された論理モジュールに過ぎず、具体的な実現形態を限定するためのものではなく、例えば、ソフトウェア、ハードウェア又はソフトウェアとハードウェアの組み合わせによって実現することができる。実際に実現する時、上記各モジュールは、独立した物理エンティティとして実現されてもよく、又は単一のエンティティ（例えば、プロセッサ（CPU又はDSPなど）、集積回路など）によって実現されてもよい。なお、上記各モジュールは、図面において破線で示され、これらのモジュールが実際に存在しなくてもよいことを指示し、それら

50

により実現される操作／機能が装置又は処理回路自体によって実現されてもよい。

【0084】

本開示の実施例により提供されるビデオ処理装置は、ビデオ再生ページにおけるプログレスバーカーソルに対する所定のドラッグ操作に対応する押下イベントを受信した場合、まず、当該プログレスバーカーソルを当該所定のドラッグ操作に対応する第1のマルチメディア素材に切り替え、その後、当該所定のドラッグ操作に対応するドラッグ軌跡に基づき、ビデオ再生プログレスバーにおいて当該第1のマルチメディア素材を移動しながら表示する。当該第1のマルチメディア素材は、ビデオ再生ページに表示されているターゲットビデオのコンテンツに関連し、当該第1のマルチメディア素材の表示位置は、ビデオ再生ページにおけるターゲットビデオの再生進捗を特徴付けるために用いられる。本開示の実施例は、プログレスバーカーソルに対する所定のドラッグ操作により、プログレスバーカーソルからターゲットビデオのコンテンツに関連する第1のマルチメディア素材に切り替え表示することをトリガし、ビデオ再生に関する機能を豊富にし、ユーザの使用体験を向上させる。

10

【0085】

上記方法及び装置に加えて、本開示の実施例は、端末機器で実行されると、前記端末機器に本開示の実施例に記載のビデオ処理方法を実現させるための命令が記憶されているコンピュータ可読記憶媒体を更に提供する。

【0086】

本開示の実施例は、コンピュータプログラム製品を更に提供し、前記コンピュータプログラム製品は、プロセッサにより実行されると本開示の実施例に記載のビデオ処理方法を実現するコンピュータプログラム／命令を含む。

20

【0087】

本開示の実施例は、メモリと、プロセッサと、を含み、前記メモリにコンピュータプログラムが記憶されており、前記コンピュータプログラムが前記プロセッサにより実行されると本開示の実施例に記載のビデオ処理方法を実現できるデータ処理機器を更に提供する。

【0088】

本開示の実施例は、コンピュータプログラムを更に提供し、前記コンピュータプログラムは、プロセッサにより実行されると本開示の実施例に記載のビデオ処理方法を実現するプログラムコードを含む。

30

【0089】

なお、本開示の実施例は、本開示の実施例によるビデオ処理の技術案を実現できるビデオ処理機器を更に提供する。図6を参照し、当該ビデオ処理機器は、

プロセッサ601、メモリ602、入力装置603及び出力装置604を含むことができる。ビデオ処理機器におけるプロセッサ601の数は、1つ又は複数であってもよく、図6において、1つのプロセッサを例とする。本開示の幾つかの実施例において、プロセッサ601、メモリ602、入力装置603及び出力装置604は、バス又は他の方法によって接続することができ、図6においてバスによる接続を例とする。

【0090】

40

メモリ602は、ソフトウェアプログラム及びモジュールを記憶するために用いることができ、プロセッサ601は、メモリ602に記憶されているソフトウェアプログラム及びモジュールを実行することにより、ビデオ処理機器の各種の機能アプリケーション及びデータ処理を実行する。メモリ602は、主にプログラム記憶領域及びデータ記憶領域を含むことができ、プログラム記憶領域には、オペレーティングシステム、少なくとも1つの機能に必要なアプリケーションプログラムなどを記憶することができる。また、メモリ602は、高速ランダムアクセスメモリを含んでもよく、少なくとも1つのディスクメモリデバイス、フラッシュメモリデバイスなどの不揮発性メモリ、又は他の揮発性ソリッドステートメモリデバイスを更に含んでもよい。入力装置603は、入力された数字又は文字情報を受信し、ビデオ処理機器のユーザ設定及び機能制御に関する信号入力を生成する

50

ために用いることができる。

【0091】

具体的には、本実施例において、プロセッサ601は、以下の命令に従って、1つ又はそれ以上のアプリケーションプログラムのプロセスに対応する実行可能なファイルをメモリ602にロードし、プロセッサ601によってメモリ602に記憶されたアプリケーションプログラムを実行し、上記ビデオ処理機器の様々な機能を実現する。

【0092】

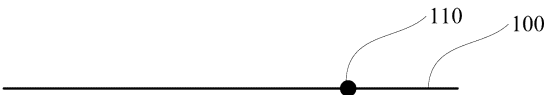
なお、本明細書において、「第1」及び「第2」などの関係用語は、1つのエンティティ又は操作を他のエンティティ又は操作と区別することのみに用いられ、必ずしもこれらのエンティティ又は操作の間に何らかのこのような実際の関係又は順序が存在することを要求又は示唆するものではない。更に、「含む」、「包含」という用語又はその如何なる他の変形は、非排他的な包含を網羅し、それにより、一連の要素を含むプロセス、方法、物品又は機器はそれらの要素を含むだけでなく、明確に列挙されていない他の要素を更に含むか、或いは、このようなプロセス、方法、物品又は機器に固有の要素を更に含む。更なる制限がない場合、「1つの…を含む」という語句で限定された要素は、前記要素を含むプロセス、方法、物品又は機器に他の同じ要素が更に存在することを排除するものではない。

【0093】

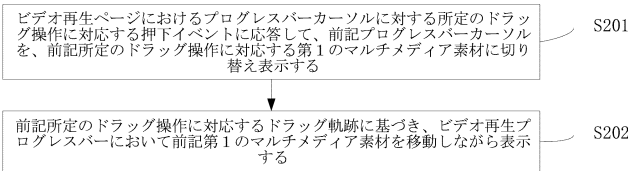
以上の説明は、本開示の具体的な実施形態に過ぎず、当業者が本開示を理解又は実現できるようにするものである。これらの実施例に対する様々な修正は、当業者にとって明らかであり、本明細書で定義された一般的な原理は、本開示の精神又は範囲から逸脱することなく、他の実施例で実現することができる。従って、本開示は、本明細書に記載のこれらの実施例に限定されず、本明細書に開示の原理及び新規な特徴と一致する最も広い範囲に合致するものとする。

【図面】

【図1】



【図2】



10

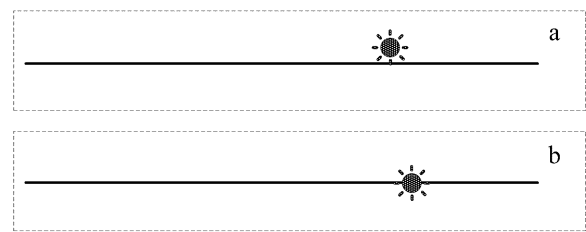
20

30

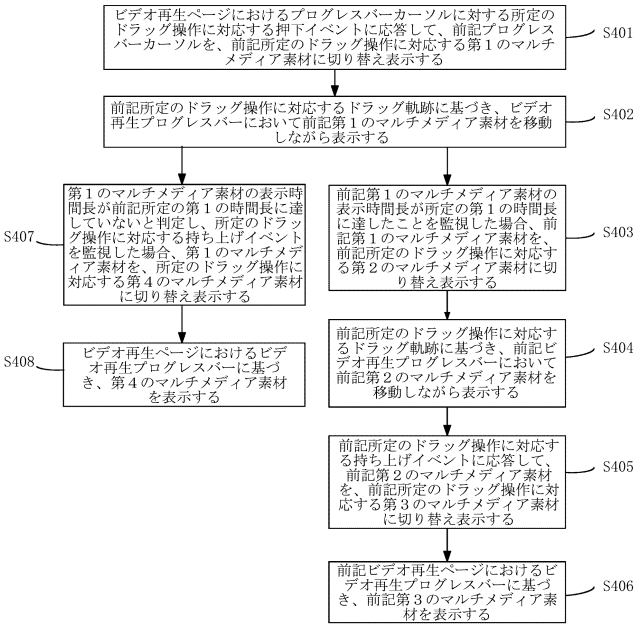
40

50

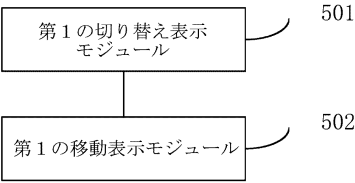
【図 3】



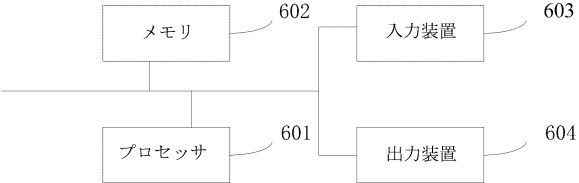
【図 4】



【図 5】



【図 6】



10

20

30

40

50

【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT		International application No. PCT/CN2023/098512
A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER H04N21/472(2011.01)i According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) IPC:H04N Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used) CNABS, CNTXT, VEN, WOTXT, USTXT, EPTXT, CJFD, CNKI: 视频, 媒体, 节目, 播放, 进度条, 游标, 指标, 指针, 标识, 图标, 拖, 变化, 改变, 切换, 关联, 相关, 单一, 单调, 时间, 时长, video, media, program, play, broadcast, progress bar, cursor, drag, change, relate, associate, single, monotonous, time		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	CN 106935254 A (ZHUHAI GREE ELECTRIC APPLIANCES INC.) 07 July 2017 (2017-07-07) description, paragraphs [0036]-[0073], and figures 1-3	1, 6-14
X	CN 106713965 A (ZHUHAI GREE ELECTRIC APPLIANCES INC.) 24 May 2017 (2017-05-24) description, paragraphs [0032]-[0097], and figures 1-4	1, 6-14
X	CN 109151553 A (CHUANXIAN NETWORK TECHNOLOGY (SHANGHAI) CO., LTD.) 04 January 2019 (2019-01-04) description, paragraphs [0067]-[0150], and figures 1-7	1, 6-14
X	CN 306078970 S (TENCENT TECHNOLOGY (SHENZHEN) CO., LTD.) 29 September 2020 (2020-09-29) description, page 1	1, 6-14
PX	CN 115119064 A (BEIJING BYTEDANCE NETWORK TECHNOLOGY CO., LTD.) 27 September 2022 (2022-09-27) description, paragraphs [0043]-[0112], and figures 1-6	1-14
☒ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☒ See patent family annex.		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "D" document cited by the applicant in the international application "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search 24 September 2023		Date of mailing of the international search report 24 September 2023
Name and mailing address of the ISA/CN China National Intellectual Property Administration (ISA/CN) China No. 6, Xitucheng Road, Jimenqiao, Haidian District, Beijing 100088		Authorized officer Telephone No.

Form PCT/ISA/210 (second sheet) (July 2022)

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/CN2023/098512

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	CN 110446093 A (TIANMAI JUYUAN HANGZHOU MEDIA TECHNOLOGY CO., LTD.) 12 November 2019 (2019-11-12) entire document	1-14
A	CN 114640876 A (TENCENT TECHNOLOGY (SHENZHEN) CO., LTD.) 17 June 2022 (2022-06-17) entire document	1-14
A	CN 307349046 S (SHANGHAI BILIBILI TECHNOLOGY CO., LTD.) 17 May 2022 (2022-05-17) entire document	1-14
A	US 2015153943 A1 (TENCENT TECHNOLOGY SHENZHEN CO., LTD.) 04 June 2015 (2015-06-04) entire document	1-14

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
Information on patent family members

International application No.

PCT/CN2023/098512

Patent document cited in search report			Publication date (day/month/year)	Patent family member(s)			Publication date (day/month/year)
CN	106935254	A	07 July 2017	None			
CN	106713965	A	24 May 2017	WO	2018103344	A1	14 June 2018
CN	109151553	A	04 January 2019	None			
CN	306078970	S	29 September 2020	None			
CN	115119064	A	27 September 2022	None			
CN	110446093	A	12 November 2019	None			
CN	114640876	A	17 June 2022	None			
CN	307349046	S	17 May 2022	None			
US	2015153943	A1	04 June 2015	US	9658757	B2	23 May 2017

Form PCT/ISA/210 (patent family annex) (July 2022)

国际检索报告		国际申请号 PCT/CN2023/098512
A. 主题的分类 H04N21/472 (2011.01) i 按照国际专利分类 (IPC) 或者同时按照国家分类和 IPC 两种分类		
B. 检索领域 检索的最低限度文献 (标明分类系统和分类号) IPC:H04N 包含在检索领域中的除最低限度文献以外的检索文献 在国际检索时查阅的电子数据库 (数据库的名称, 和使用的检索词 (如使用)) CNABS, CNTXT, VEN, WOTXT, USTXT, EPTXT, CJFD, CNKI: 视频, 媒体, 节目, 播放, 进度条, 游标, 指标, 指针, 标识, 图标, 拖, 变化, 改变, 切换, 关联, 相关, 单一, 单调, 时间, 时长, video, media, program, play, broadcast, progress bar, cursor, drag, change, relate, associate, single, monotonous, time		
C. 相关文件		
类 型*	引用文件, 必要时, 指明相关段落	相关的权利要求
X	CN 106935254 A (珠海格力电器股份有限公司) 2017年7月7日 (2017 - 07 - 07) 说明书第[0036]-[0073]段; 附图1-3	1, 6-14
X	CN 106713965 A (珠海格力电器股份有限公司) 2017年5月24日 (2017 - 05 - 24) 说明书第[0032]-[0097]段; 附图1-4	1, 6-14
X	CN 109151553 A (传线网络科技 (上海) 有限公司) 2019年1月4日 (2019 - 01 - 04) 说明书第[0067]-[0150]段; 图1-7	1, 6-14
X	CN 306078970 S (腾讯科技 (深圳) 有限公司) 2020年9月29日 (2020 - 09 - 29) 说明书第1页	1, 6-14
PX	CN 115119064 A (北京宇跳网络技术有限公司) 2022年9月27日 (2022 - 09 - 27) 说明书第[0043]-[0112]段; 附图1-6	1-14
A	CN 110446093 A (天脉聚源 (杭州) 传媒科技有限公司) 2019年11月12日 (2019 - 11 - 12) 全文	1-14
☒ 其余文件在C栏的续页中列出。 ☒ 见同族专利附件。		
* 引用文件的具体类型: “A” 认为不特别相关的表示了现有技术一般状态的文件 “D” 申请人在国际申请中引证的文件 “E” 在国际申请日的当天或之后公布的在先申请或专利 “L” 可能对优先权要求构成怀疑的文件, 或为确定另一篇引用文件的公布日而引用的或者因其特殊理由而引用的文件 (如具体说明的) “O” 涉及口头公开、使用、展览或其他方式公开的文件 “P” 公布日先于国际申请日但迟于所要求的优先权日的文件 “T” 在申请日或优先权日之后公布, 与申请不相抵触, 但为了理解发明之理论或原理的在后文件 “X” 特别相关的文件, 单独考虑该文件, 认定要求保护的发明不是新颖的或不具有创造性 “Y” 特别相关的文件, 当该文件与另一篇或者多篇该类文件结合并且这种结合对于本领域技术人员为显而易见时, 要求保护的发明不具有创造性 “&” 同族专利的文件		
国际检索实际完成的日期 2023年9月24日		国际检索报告邮寄日期 2023年9月24日
ISA/CN的名称和邮寄地址 中国国家知识产权局 中国北京市海淀区蓟门桥西土城路6号 100088		受权官员 陈德锋 电话号码 (+86) 010-62411501

10

20

30

40

50

国际检索报告		国际申请号 PCT/CN2023/098512
G. 相关文件		
类 型*	引用文件，必要时，指明相关段落	相关的权利要求
A	CN 114640876 A (腾讯科技(深圳)有限公司) 2022年6月17日 (2022 - 06 - 17) 全文	1-14
A	CN 307349046 S (上海哔哩哔哩科技有限公司) 2022年5月17日 (2022 - 05 - 17) 全文	1-14
A	US 2015153943 A1 (TENCENT TECH SHENZHEN CO LTD) 2015年6月4日 (2015 - 06 - 04) 全文	1-14

国际检索报告
关于同族专利的信息

国际申请号

PCT/CN2023/098512

检索报告引用的专利文件			公布日 (年/月/日)	同族专利			公布日 (年/月/日)
CN	106935254	A	2017年7月7日	无			
CN	106713965	A	2017年5月24日	WO	2018103344	A1	2018年6月14日
CN	109151553	A	2019年1月4日	无			
CN	306078970	S	2020年9月29日	无			
CN	115119064	A	2022年9月27日	无			
CN	110446093	A	2019年11月12日	无			
CN	114640876	A	2022年6月17日	无			
CN	307349046	S	2022年5月17日	无			
US	2015153943	A1	2015年6月4日	US	9658757	B2	2017年5月23日

PCT/ISA/210 表(同族专利附件) (2022年7月)

10

20

30

40

50

フロントページの続き

,MC,ME,MK,MT,NL,NO,PL,PT,RO,RS,SE,SI,SK,SM,TR),OA(BF,BJ,CF,CG,CI,CM,GA,GN,GQ,GW,KM,ML,MR,NE,SN,TD,TG),AE,AG,AL,AM,AO,AT,AU,AZ,BA,BB,BG,BH,BN,BR,BW,BY,BZ,CA,CH,CL,CN,CO,CR,CU,CV,CZ,DE,DJ,DK,DM,DO,DZ,EC,EE,EG,ES,FI,GB,GD,GE,GH,GM,GT,HN,HR,HU,ID,IL,IN,IQ,IR,IS,IT,JM,JO,JP,KE,KG,KH,KN,KP,KR,KW,KZ,LA,LC,LK,LR,LS,LU,LY,MA,MD,MG,MK,MN,MU,MW,MX,MY,MZ,NA,NG,NI,NO,NZ,OM,PA,PE,PG,PH,PL,PT,QA,RO,RS,RU,RW,SA,SC,SD,SE,SG,SK,SL,ST,SV,SY,TH,TJ,TM,TN,TR,TT,TZ,UA,UG,US,UZ,VC,VN,WS,ZA,ZM,ZW

中国 1 0 0 0 2 8 ベイジン, チャオヤン ディストリクト, チション ミドル ストリート, コートヤード, ナンバー・1 2, フュージョン センター, ビー1 フロアー, ポスト オフィス

(72)発明者 ヤン, イ

中国 1 0 0 0 2 8 ベイジン, チャオヤン ディストリクト, チション ミドル ストリート, コートヤード, ナンバー・1 2, フュージョン センター, ビー1 フロアー, ポスト オフィス

Fターム (参考) 5C023 AA01 AA11 AA21 BA01 BA11 BA15 CA01